

## 平成29年度第1回 屋久島世界遺産科学委員会の議論の整理

課 題	主な意見	関係する機関	回 答
議事-(2) 屋久島世界遺産地域管理計画の実施状況について	外来種や病害虫協議会について 外来種の対策協議会の体制について、ミカンコミバエやアリモドキゾウムシ等の外来種が入ってきていることから委員会に関係する行政機関以外に、福岡県門司にある植物防疫所の方も入れて検討していただきたい。	林野庁 環境省 鹿児島県 屋久島町	・外来種対策については、今年度関係する行政機関で連携して協議会を立ち上げた。その中で情報の共有を図りながら対策を検討していくこととなります。また、必要となれば植物防疫所等への要請も検討して参りたい。
議事-(3) モニタリング調査について	高層湿原の荒廃について 高層湿原の現況は悪化している。最大の原因はヤクシカの立ち入り、採餌にある。水門やそれに伴う土砂流出について専門家の意見聴取が必要だと発言した。水の流出、排出、土砂の流入、排出を全体とおして調べるには相当のモニターが必要である。このため、少なくとも、高層湿原周辺雨量の把握は必要になる。	林野庁	・高層湿原の衰退の要因は、大きくヤクシカによる採食と土砂流入の2つであると考えられる。まず、シカからの影響に対応するため、今年度は小花之江河に植生保護柵の設置を行い、モニタリングして行くこととしている。その他要因の対応については、これからも専門家の意見を頂きながら対応したい。 ・雨量計については、高層湿原周辺では、黒味岳で計測しているため、今後のモニタリング調査に反映して行きたい。
	花之江河の対策として、土砂で埋め戻すのか、経過観察するのか、具体的な方策が出てこない。	林野庁 環境省	・対策については、今後専門家から意見を頂きながら関係行政機関で連携して対応したい。 ・登山道から花之江河への土砂流入については、下川委員から助言を頂き、流入防止に努め、予算確保についても努力しているところである。また、高層湿原の回復にあたっては、関係機関と連携をとりつつ対応して行きたい。
	流路に敷石をする提案もあったが、流路がどう変化するのか、浸食が進むのかは答えがでない。今後のモニターとデータ蓄積が必要である。	林野庁 環境省	・流路や浸食のモニタリングについては、関係機関で調整して実施して参りたい。
	高層湿原は景観としても重要な場所であるのに各行政機関が目指すべきゴールの共通認識ができていない。省庁ごとの対策では限界があるため、環境省、林野庁で連携が必要である。	林野庁 環境省	・高層湿原の保全については、重要なものと認識しているところである。まずは、荒廃を止めることが重要と考えており、その対策を講じたうえで、どこまで回復させるか等の目標について、委員の皆様や専門家の意見を伺い関係機関が連携し対応して参りたい。
	パッチディフェンスによる植生保護柵の設置は良い方法であると思うが、設置した場合の懸念事項として、柵の外側は、ヤクシカによる踏み固めや食圧が高くなる可能性もあるため、パッチ状に全面をディフェンスするような形で設置をした方がよいのではないか。	林野庁	・今年度については、計画したパッチディフェンスによる植生保護柵の設置を実施し、設置後の内外の状況についてモニタリングすることとしている。
水質調査について	水質調査では、悪化している箇所を把握してほしい。	環境省	・水質の悪化要因は自然界の中にもあると判断しており、推定は難しいので、有識者からの助言を得ることを考えている。

課 題		主 な 意 見	関 係 す る 機 関	回 答
議事－(4) ヤクシカワー キンググルー プでの取組状 況について	西部地域の 管理について	西部地域のシャープシューティングについて一部の研究者から意見が出て いるが、多様な意見を取り入れるということから、その委員をWGに入れてみ ることも大事なことである。	林野庁 環境省 鹿児島県 屋久島町	・WG委員構成については、いろんな意見が反映されるよう構成している。 ・シャープシューティングと西部地域での取り組みは、別である。シャープ シューティングについては、南部や中央部の保護地域の中で計画的に管理 していくための一つの手法として考えており、導入評価のための試験捕獲の 準備を進めているところである。
議事－(5) 山岳部におけ る利用の検討 状況について		検討会で複数のオプションを検討し何らかの方法で住民等に選択させるの か、一つのビジョンを検討・策定するのか、どちらを考えているのか。	環境省	・この検討会では、1つのビジョンを関係機関や地域の方々を描くことを想定 している。それを基にして、登山道等の施設整備水準、利用者へのサービ ス、利用者管理の方策という具体的な施策へ反映させる予定である。
		世界遺産であるため、世界の中での屋久島の位置も念頭において議論す る。また、屋久島の特色を来た人に理解してもらうことも検討してもらいた い。	環境省 屋久島町	・屋久島が世界に対してどのような位置付けで、どんな役割で、どんな貢献 ができるのかという視点をもって作業に取り組んでいる。 ・山岳部の利用の検討は、過去に町でも取り組んできたが、関係機関が連 携して取り組むことが重要である。幅広い議論の検討には町としても積極的 に参加したいと考えている。
		・客観的な位置付けと同時に、逆に屋久島の特徴を世界のモノサシとする 考えも必要である。 ・町としても、島全体を考えるランドデザインの検討が必要である。	環境省 屋久島町	・検討会では、ビジョン検討にあたりいろんな方向からの意見や議論をして 行きますので、ご意見も検討会の中で検討されると考えている。 ・町では環境省や林野庁等を構成員とした「山岳部保全利用協議会」を設置 していることからビジョン策定を踏まえ当該協議会においても検討して行き たい。
議事－(6) その他	IUCNアウト ルックについ て	屋久島世界自然遺産アウトルック文献等リストだが、論文はもっとあるので はないか。	環境省	・委員の皆様からは、日本語訳のものや有料のものを含めると10件程度を 紹介して頂いたところであり、その中で、英語訳されたものを選定して提出し たところである。今後IUCNから論文等の追加依頼があれば、改めて各委員 の方々に英語訳のものを紹介して頂き、提出したいのでご協力をお願いした い。
	マダニについ て	屋久島の方がSFTSIに感染され、屋久島での感染者は二例目だった。屋久 島の島民や登山客にとって深刻な脅威であるという認識の共有が必要であ る。	林野庁 環境省 鹿児島県 屋久島町	・鹿児島県や屋久島町としては、情報を把握し、担当部署を通じて状況に応 じた対応を行って参りたい。 ・林野庁や環境省としても、情報を提供して頂き、県や町と協力して参りた い。